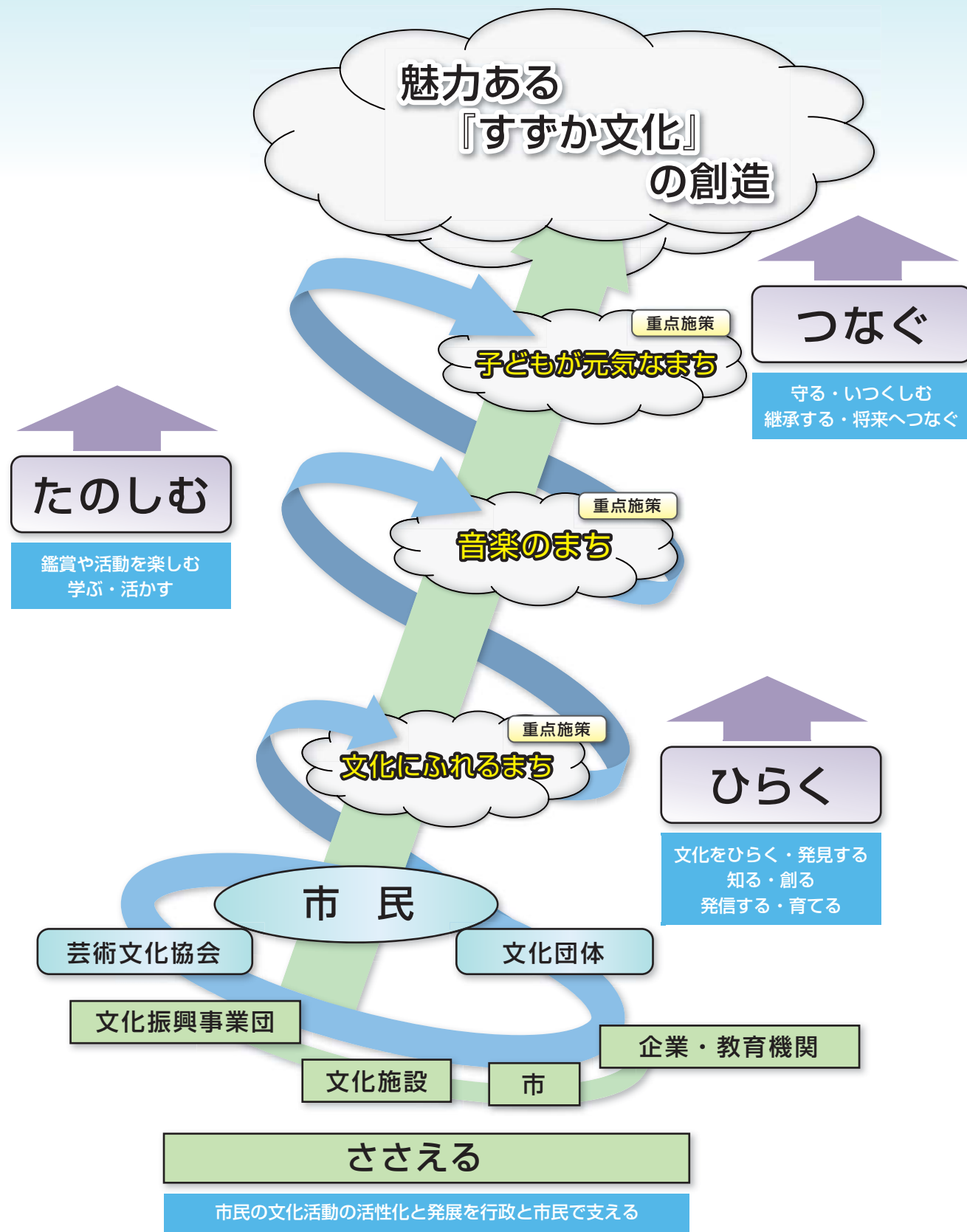


第2次 鈴鹿市文化振興ビジョン

－ 概要版 －



策定の趣旨

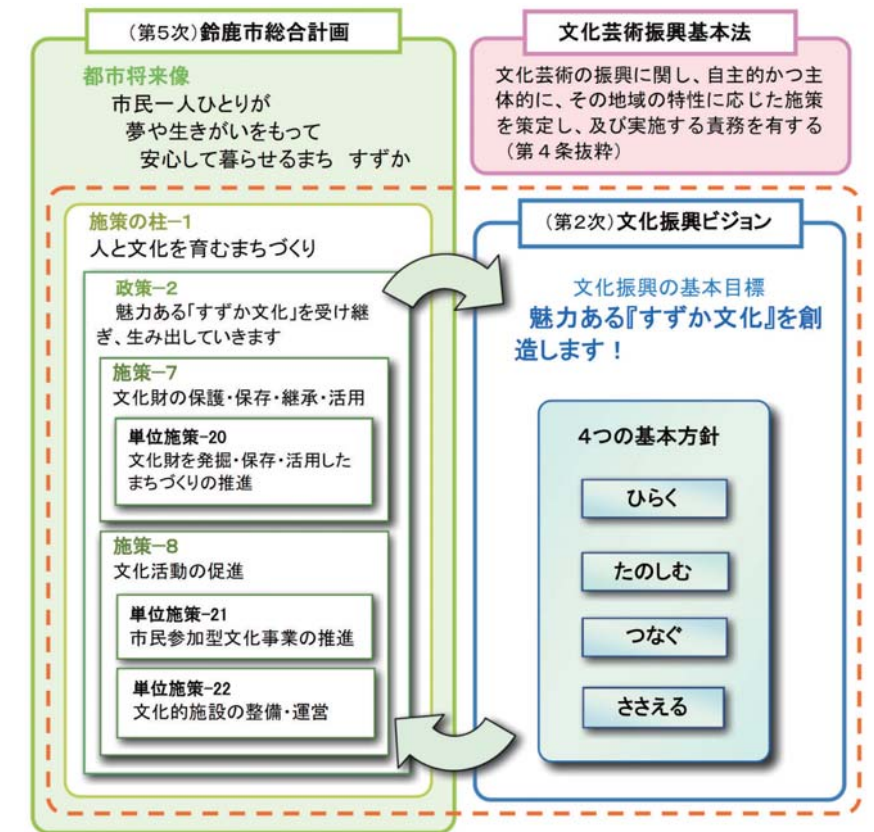
鈴鹿市は、平成16年3月、鈴鹿らしい市民文化を達成するための基本方針と、具体的な施策の方向を明らかにするため「(第1次)鈴鹿市文化振興ビジョン」を策定し、文化芸術の振興が図られてきました。その後、文化を取り巻く社会環境の変化の中、これまでの文化振興の成果と現状を踏まえ鈴鹿市文化振興ビジョンを改訂することとしました。

ビジョンの位置付け

「文化芸術振興基本法」では、地方公共団体の責務として、第4条に「地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と定めています。

本ビジョンは、鈴鹿らしい文化振興を推進するための指針として、市の最上位計画である「鈴鹿市総合計画」の文化芸術に関する部門別計画として策定されるものです。

ビジョンの基本的な考え方については前ビジョンを踏襲し、過去9年間における取り組みを踏まえ、次期の鈴鹿市総合計画も見据えながら、市民・団体・企業・行政の協働による文化振興の方向性を示すものとします。



ビジョンの期間

ビジョンに盛り込まれた考え方や施策の方向性については、総合計画の目標年度である平成27年度に区切られることなく、より長期的な視点で推進するため、概ね平成34年度までの10年間とします。



ビジョンの基本目標

「魅力ある『すずか文化』を創造します!」

これまで、育まれてきた「すずか文化」が持つ文化力を一層高めるため、市民の文化に対する意識を高め、民間の力を活かし、一人ひとりが気軽に活動できる環境を創り、次代の担い手である子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を創り、文化が受け継がれていくことで市制施行80周年を迎える10年後をひとつの目標にして「すずか文化」の創造を目指します。

第2次 鈴鹿市文化振興ビジョン

平成25年(2013年)3月

発行・編集 鈴鹿市文化振興部文化課 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 電話 059-382-1100(代表)



長太の大クス(県指定天然記念物)

基本方針

一人ひとりの市民が生涯において、自分にあった文化活動を行い、暮らしの中に文化を取り入れ、地域の文化や文化遺産を学び、魅力ある文化を創造するため、文化振興の基本となる方向性を4つのキーワードに整理をしました。

ひらく

文化をひらく・発見する・知る・
創る・発信する・育てる

長い伝統の中で培われてきた伝統文化だけでなく、市民の文化活動によって日々創造される文化も、まぎれもない「すずか文化」といえます。まだ知られていない、ユニークで多様な文化活動に光を当て、その魅力が生まれ、広く認められることで、すずからしさを発揮する文化へと発展します。

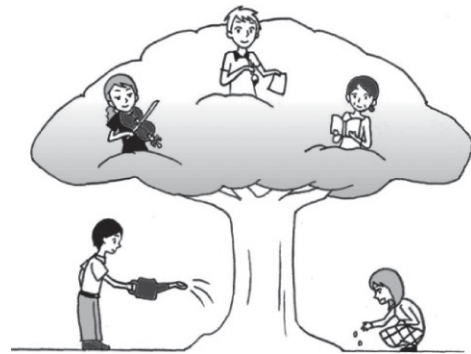
すずからしさにつながる可能性を秘めた文化資源を発掘・再発見し、市民一人ひとりが、自分自身の体験として「気づき」あるいは「認められること」の感動、高揚感を実感できる文化振興施策を目指します。



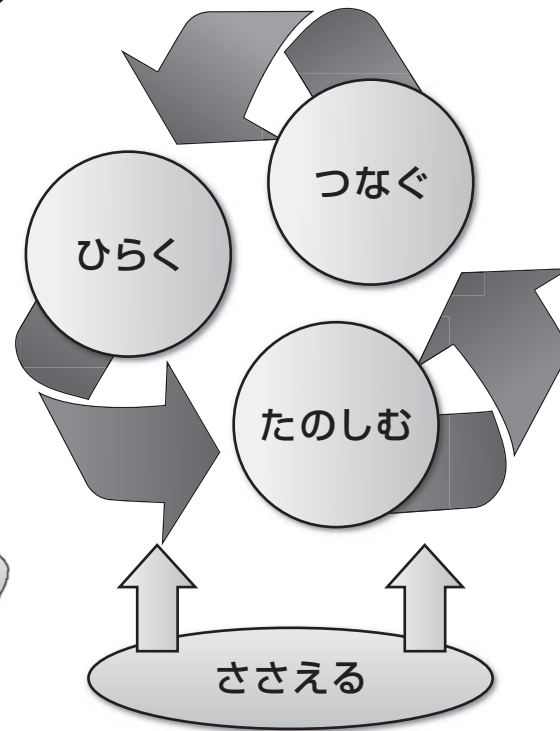
ささえる

市民の文化活動の活性化と
発展を行政と市民で支える

市民が主体的に文化活動を楽しめるように、文化振興のための拠点を整備し、市民の活動を支援する団体の育成や、民間の力を活かした文化活動を推進します。

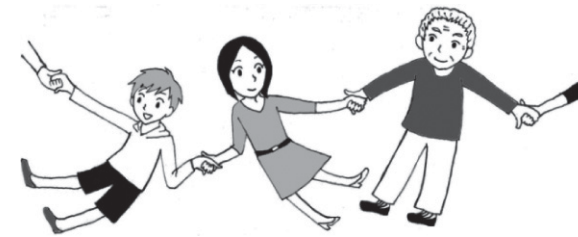


4つのキーワードのイメージ



つなぐ

守る・いつくしむ・継承する・将来へつなぐ



文化財や伝統芸能などを大切に守り、継承することはもちろん、新しく生み出されてきた文化も、次の世代へ継承されることで将来へ発展していきます。

市民によって生み出され、育てられ、磨かれることで、鈴鹿らしい文化が未来へ引継がれていくことを目指します。

たのしむ

鑑賞や活動を楽しむ・学ぶ・活かす



音楽や芸術作品の鑑賞、地域の祭りや郷土芸能に関わるなど自らの生活スタイルに応じて、文化芸術に親しんでこそ、本当の意味で、市民文化の広がりレベルの向上が見込まれ、ひいては、郷土や地域コミュニティへの愛着や誇りが醸成されます。

多くの人が、自らの文化活動を楽しみ磨きをかけることで、鈴鹿らしい魅力的な文化として輝きが増す、身近に文化活動を楽しむことのできる環境づくりを目指します。

重点施策

文化にふれるまち

創作活動を始めるきっかけづくりとして、子どもから大人まで、様々な分野の文化講座や展示会など、誰もが気軽に文化・芸術にふれることができる機会の充実に努めます。

- 目標
- 気軽に参加できる講座の充実
 - 新しい分野の講座
 - 体験型・参加型講座の充実
 - フィールドワークの充実
 - 施設間の連携
 - 市内各地の文化財巡り



国指定天然記念物 金生水沼沢植物群落観察会

重点施策

音楽のまち

本市は、小学生から社会人まで吹奏楽が非常に盛んであり、コンクールで高い評価を得る等、その活躍が全国レベルの団体がいくつもあります。その元気のある吹奏楽をはじめとして、市民の音楽活動の発表ができる場づくりや、鈴鹿市出身の音楽家の演奏にふれる機会づくりに取り組み、音楽のまち鈴鹿をアピールします。

- 目標
- 実力ある市民演奏家の発表の場の提供
 - 市民が気軽に生の演奏にふれる機会の提供
 - 音楽を通した市民の出会い・交流の促進



鈴鹿の街音楽祭

重点施策

子どもが元気なまち

子どもたちが優れた芸術作品や演奏等に直接ふれ、楽しみ、関心を高めることで、次世代を担う子どもたちの豊かな心を育みます。また、地域の伝統芸能などを学ぶことは、郷土への誇りや愛着が芽生え、すずかの伝統文化が未来に引き継がれる重要な原動力になります。

- 目標
- 子どもが楽しむ音楽、芸能、演劇等の開催
 - 地域の伝統芸能の体験・伝承
 - 親子向けミュージカルの開催
 - 優れたアーティストを学校へ派遣



ペットボトルダンスワークショップ